

UI/UX診断チェックシート

- ・それぞれの項目を○×△で判定しています。該当するものがない場合は「—」としています。
- ・たとえ判定が×であっても、サイトの役割によっては修正が不要なこともあります。

この診断は「効果的なWebサイトにするために何を直すかを洗い出すための判断材料」のようなものです。

・これはお客様用の資料であり、実際には90以上の項目でチェックをおこなっています。

		項目	詳細/解説	判定
コンテンツ (サイトの内容)	ターゲット	ファーストビューやメインビジュアルは抽象的ではなく、独自の画像を使用し、特徴的で記憶に残りやすいものになっているか	ファーストビューやメインビジュアルだけでなんのサイトか、サービスの概要が分かるか。	
	訴求	サービスの機能説明だけでなく、それを利用することでどのような体験ができるか、どう今より良くなるのかを伝えられているか	ユーザーがそのサービスを利用したときの自分の姿を想像できるようになっているか。	
	テキスト	各見出しはページのテーマや言いたいことを明確に伝えられるコピーになっているか	その見出しからページやコンテンツの内容が把握できるか。	
	コンテンツ	コンテンツに関係のないリンクを不要に設置していないか	そのページに関係のないリンクは無いかな。	
導線設計	回遊性	ユーザーが迷わずに目的の情報にアクセスできるか	ユーザーが興味を持つページへアクセスしやすくしたり、直感的に操作しやすくすることでサイトからの離脱を防ぐ。	
	CTAボタン	グローバルナビゲーションにCTAボタンが設置してあるか	資料のダウンロードや購入など、サイトでの最終目的とするアクションボタンをグローバルナビゲーションに設置することで、どのページからでもアクセスできる。また、そのサイトで最終的に何ができるかわかりやすくなる。	
UIデザイン (見た目や意図が伝わるか)	テキスト	行間、文字間、文章の長さは適切か	文字間や行間が詰まりすぎたり、開きすぎていると可読性が下がる。あまりに長すぎる文章は読みづらさや離脱につながる。	
	色	カラーパレットやフォントが統一されているか	色やフォントを使いすぎないことで、「この色のこのフォントはタイトルである」「この色はボタンでありクリックできる」など、見ただけでその要素の役割を認識することができる。	
	画像	画像はページのコンテンツと関連しているか。その画像は鮮明か	画像より簡単にコンテンツを理解できる手助けになる。その画像はページの内容や説明とずれが無いかな。画像がぼやけていないか。	
	把握	異なる機能を同じ見込みにしていないか	クリックできる要素とできない要素が同じ色やデザインになっていないか。クリックできる要素を見逃してしまう可能性にもつながる。	
	ボタンリンク	それがボタンであることがわかるか	クリックできることに気付けるか。ボタンだと思って誤ってクリックしてしまわないか。	
ユーザビリティ	ボタンリンク	ボタンやリンクが並んでいる場合、誤タップ・クリックしないように十分な間隔を保っているか	操作ミスを防ぐことに加え、ユーザーはリンク先が誤っているかを判断できない可能性もあるため、ボタンやリンクが並ぶ場合は周りに十分な余白を設ける。	
	インタラクション	ボタンがクリックしやすい位置にあり、動作が期待通りか	特にナビゲーション・ハンバーガーメニューやCTAボタンの位置。	
アクセシビリティ (安心して利用できるか)	安全性	プライバシーポリシーまたはサイトポリシーへアクセスしやすいか	フッターなどのページにいても簡単にポリシーにアクセスできるか。	
	配慮	色の識別が困難であるユーザーがいるという前提で色の違いのみによる情報の区別を避けているか	例えばサイトをモノクロにしたときにコンテンツの分類分けの見分けがつかない。色のみでコンテンツを区別し、アイコンがないなど。	
機能設計	機能	FAQやチャットボットなど、ユーザーがWEB上で簡単に疑問を解決できる手段を提供しているか	ユーザーの疑問を解消することができているか。	
ページエクスペリエンス	表示	デバイスごとに適切に表示されるか	PC、タブレット、スマホにレスポンス対応しているか。ブランドへの信頼・イメージ向上や、アクセシビリティにもつながる。	
フォーム/入力設計	エラー	エラーの理由がわかりやすいか	「入力内容が不正です」ではなく「〇字以上で入力してください」といったわかりやすい。	
	わかりやすさ	必須項目か任意項目かわかるようになっているか	それぞれ色を分けたりしているか。また必須項目に対して「*」のみになっているとフォーム入力に慣れていない人には伝わらない。	

個数	
○	0
△	0
×	0
—	0
合計	0

Review Report

UI/UX診断レポート

株式会社〇〇様

Contents

目次

- 1 UI/UXとは？
- 2 レポート（8項目）
- 3 まとめ

About

1 UI/UXとは？

UIとは

UIは「**ユーザーインターフェース**」の略で、ユーザーが直接触れる製品やサービスの「**見た目**」や「**操作感**」を指します。

例

「資料請求」ボタンが**目立つ色**でデザインされ、ページの中央に配置されている。それがクリックできる**ボタンだとすぐに理解**でき、**クリックしやすい大きさ**である。

資料請求はこちら 

UXとは

UIは「**ユーザーエクスペリエンス**」の略で、ユーザーが製品やサービスを使用する過程で感じる**全体的な「体験」**を指します。

例

「資料請求」ボタンをクリックすると、**簡潔でわかりやすいフォームが開き、ページの読み込みもスムーズ**で、**ストレスなく手続き**ができる。

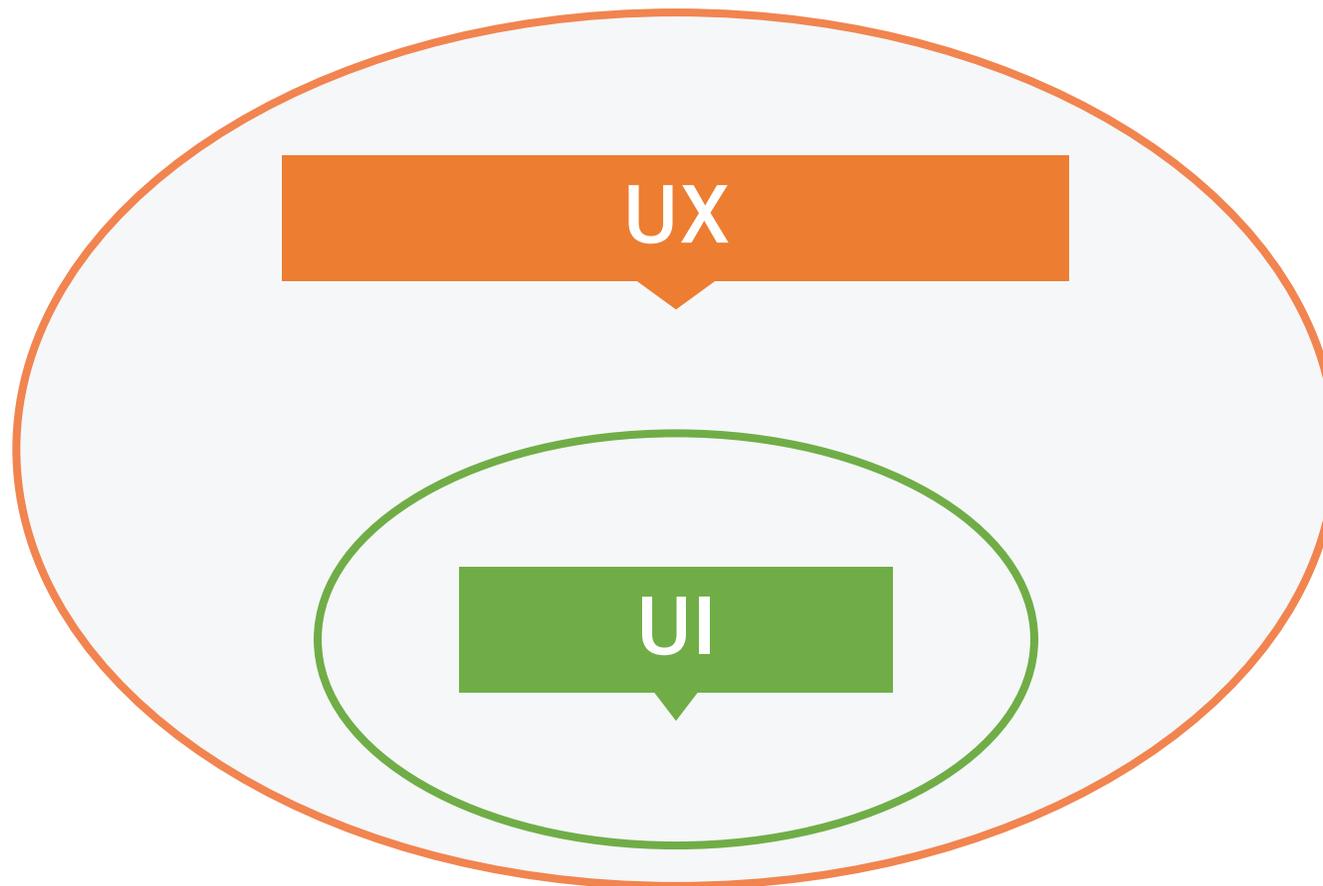
つまり…

1

UI/UXとは?

UIはUXを構成する要素の1つ

良いUIはユーザーが直感的に製品を使用できるようにし、
良いUXはその製品全体の使い勝手や満足度を高めます。



Report

2 レポート

以下の8項目をチェックし、UIUXの観点でのチェックポイントと改善例を示しています。

01.コンテンツ

サイトを開いたときにサイトの内容が伝わるか

02.導線設計

迷わずにサイトを回遊でき、目的にたどり着けるか

03.UIデザイン

直感的に意図が理解できるデザインになっているか

04.ユーザビリティ

誤解・誤動作しない設計になっているか

05.アクセシビリティ

誰もが快適にサイトを利用できる状態か

06.機能設計

ユーザーの自己解決を手助けする機能の確認

07.ページエクスペリエンス

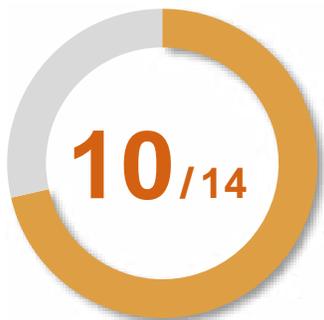
サイトのページが正しく表示されるか

08.フォーム設計

フォームの使い勝手の確認

全体

01.コンテンツ



02.導線設計



03.UIデザイン



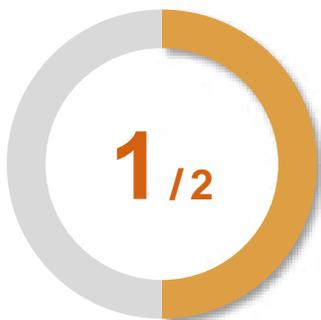
04.ユーザビリティ



05.アクセシビリティ



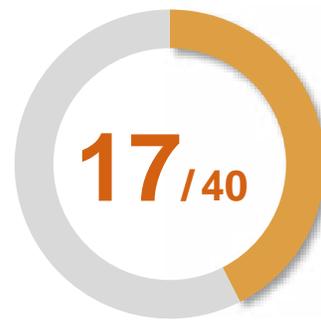
06.機械設計



07.ページエクスペリエンス



08.フォーム設計



コンテンツ



- ・ サイトの内容がサイトを訪れたユーザに伝わるかを確認しています。
- ・ ユーザーが長く滞在することで検索エンジンがサイトを高く評価しSEOの向上も見込めます。

チェックポイント

- 改善点を記述します

改善例

- 改善例や案を記述します。
(レポートPlusをご利用のお客さまのみ)

レポートPlusでは具体的な改善例に加え、改善優先度と難易度を低、中、高でわかりやすく示します

改善優先度

高

コンテンツ

レポートPlusでは視覚的にわかりやすい例や参考サイトなどもご提案いたします。

改善例



誰もが病院とわかる画像

参考サイト：[大野記念病院](#)



目的別のコンテンツの括り

参考サイト：[大野記念病院](#)



TOPに病院の特徴

参考サイト：[熊本第一病院](#)

Summary

3

まとめ

3

まとめ

レポートPlusではどのように改善を進めていくか流れを大まかに説明いたします。

改善優先順位度の高いものから流れをまとめると…

1

メニューとTOPページを改善し、回遊性をよくすることで、ユーザーが欲しい情報に簡単にアクセスできるようにする。

2

ユーザーが何を求めてサイトを訪れているかを考える。

それに基づいて情報に優先順位をつけてサイトを見やすくする。

3

そのうえでフォームのデザインなどの細かい部分を改善していく。

Thanks for your attention

UI/UX診断のお問い合わせはコチラ

<https://befriend.co.jp/uiux/> 